

機関リポジトリ構築を経験して (1)

- 国立大学法人室蘭工業大学
図書・学術情報室
運用係 小林 誠

～ 創造的な科学技術で夢をかたちに ～

平成20年度学術ポータル担当者研修

名古屋大会場：2008年7月24日（木）

NII会場 ：2008年8月28日（木）

室蘭工業大学学術資源アーカイブで す！



D-Space
を使用

 国立大学法人 室蘭工業大学
MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

簡易検索
 検索
詳細検索
主題検索

Muroran-IT Academic Resources Archive >

[English](#) [日本語](#)

2008年3月14日 正式公開しました

室蘭工業大学学術資源アーカイブは、室蘭工業大学で生産された研究成果や教育資源を蓄積・保存し、公開することを目的とした機関リポジトリです。

本アーカイブに収録された学術論文の一部については、著作権者の意向により論文著者作成の原稿ファイルが収録されていることがあります。レイアウトや字句校正等、実際の誌面とは若干の違いがあることもありますので、あらかじめご了承ください。

検索

検索語を入力して、検索ボタンをクリックしてください。

検索

学科・センター等

閲覧したい学科・センター等を選択してください。

- [10 建設システム工学科](#) [1]
- [20 機械システム工学科](#) [22]
- [30 情報工学科](#) [1]
- [40 電気電子工学科](#) [16]
- [50 材料物性工学科](#) [22]

はじめての方にも
わかりやすい
表現を意識

Link

[室蘭工業大学附属図書館](#)

[機関リポジトリ一覧\(国立情報学研究所\)](#)

[高頻度閲覧文献\(今月分\)](#)



研究成果、室蘭
発世界へー学
術資源アーカイ
ブによる教育・研
究成果の発信ー
(pdfファイル)2

- ホーム
- 一覧
- 学科・センター等
- タイトル
- 著者
- キーワード
- 日付
- 登録利用者:
 - メール受信登録
 - 登録者ページ
利用者(E-people)
 - プロフィール編集
 - ヘルプ
 - 当システムについて

リポジトリの環境(1)システム

Dspaceを使用

導入実績の多さ

先行館によるノウハウ蓄積

DSpace1.3(開始当初)

→ DSpace 1.4.2(2008.6.27～)

高頻度統計(A Porting Package of ePrintsStats (v. 2.1)),
国際化パッチ

制限語彙機能を使ったNDCの入力・検索を導入。

リポジトリの環境(2)サーバ

PRIMERMY TX2000S3

CPU Xeon 5110(1.60GHz/4MB)

メモリ 2GB

HDD 73GB

RedHat Enterprise Linux ES v.4 for x86

java jdk1.6.0_06

apache-ant 1.6.5

postgresql 7.4.2

Apache-Tomcat 6.0.16

リポジトリ構築の歴史(1)

導入に向けて – 学内で

2006年

- 学内で生産された研究成果や教育資源を蓄積・保存する手段としての機関リポジトリに関心を持つ。
⇒館員レベルで「有意義だ。やるべきだろう」
- 6月
年度計画で「機関リポジトリの設置を検討」を明文化。
図書館長(当時)に機関リポジトリの概念説明。
平成19年度中の構築・公開を目指す方針の了承を得る。
⇒館長(理事)の理解・協力
⇒期限を切って導入へ退路を断つ

リポジトリ構築の歴史(2)

導入に向けて — 学外で

■ 11月

デジタルリポジトリ連合(Digital Repository Federation : DRF)」に参加。

(CSI事業未採択機関ながら同連合に参加したのは本学が唯一)

※他に, AIR wayプロジェクトのリンク解決対象リポジトリとしても参加。

⇒リポジトリに関係することに参加。

■ この時期までに出していた外部資金はあたらなかった

⇒自己資金で実施することに

リポジトリ構築の歴史(3)

サーバ導入, システム構築

2007年

■ 冬

学内補正予算で機関リポジトリサーバー式の予算を要求し, 満額認められる。

■ 2月

学内補正予算, 館内予算調整等で機関リポジトリサーバー式, システム構築作業の業者への業務委託等の導入を決定。

■ 3月下旬

サーバ導入, システム構築作業完了。

リポジトリ構築の歴史(4)

試験公開へ

- 6月
図書館委員会で機関リポジトリの設置を承認
- 7月
学長・理事打ち合わせでの報告(館長から)
教授会での報告(館長から)
⇒19日試験公開
⇒学内での説明会活動

リポジトリ構築の歴史(5)

正式公開

2008年

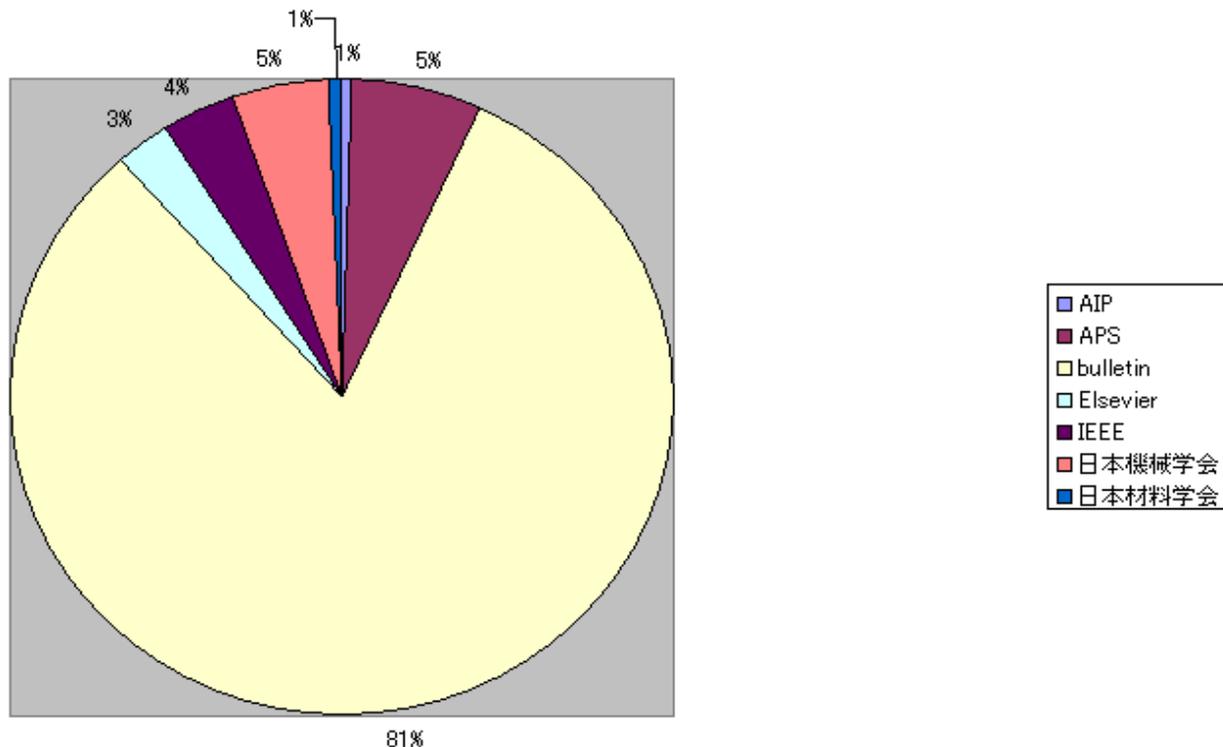
- 3月14日
正式公開
- 6月20日
運営方針を図書館委員会へ。

大学としての特徴(1)

収録資料種別

■ 紀要が8割強

⇒ 成果報告のために紀要も大事だと考えています。

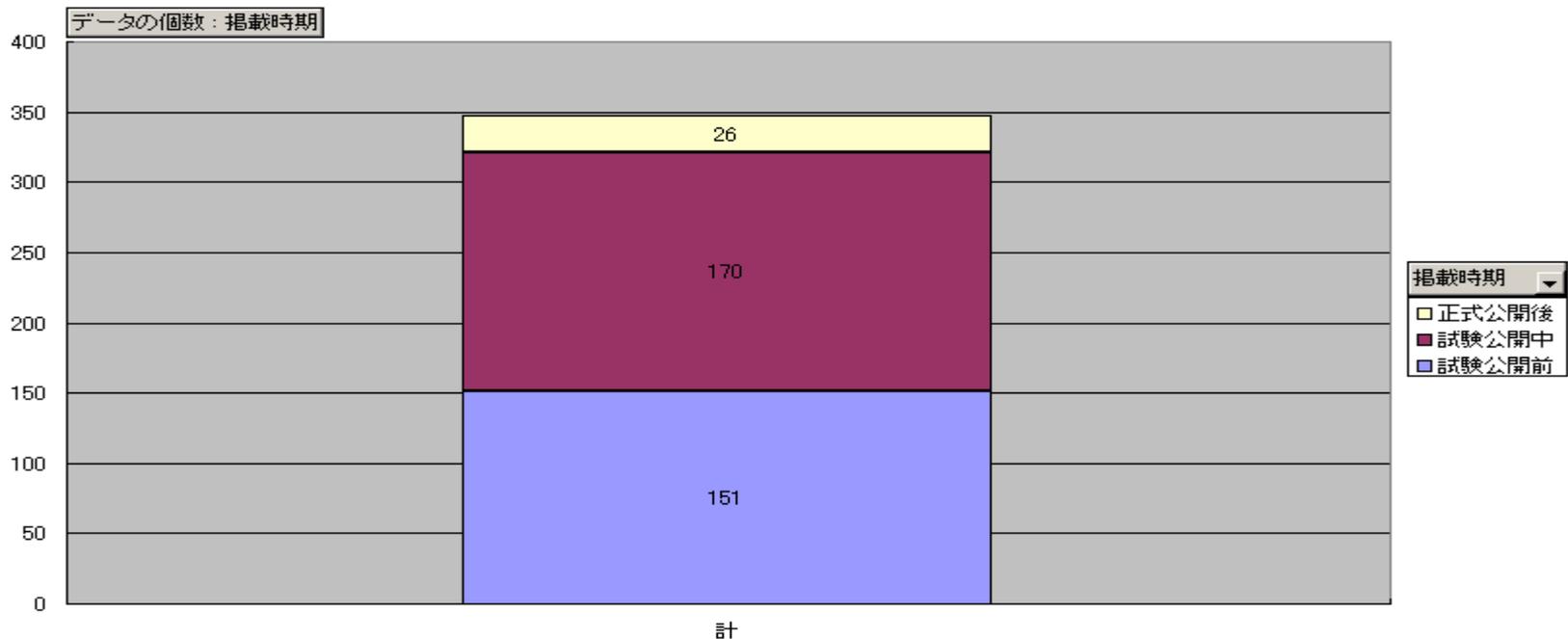


大学としての特徴(2)

掲載時期別

- 試験公開前と試験公開中の資料が多い。

⇒試験公開前は紀要, 試験公開後は, 雑誌掲載版を使用できる雑誌に投稿している研究者に承諾いただく作業をしたため。



大学としての特徴(3)

運用方針について

- 今年の6月20日の図書館委員会で「室蘭工業大学
学術資源アーカイブ運用指針」の承認を得た。
⇒目的, 登録対象者, 登録対象資料, 利用条件等を明示。
- 今後の活動の制約とならないように, 基本的には
「載せられるものは全部」というスタンスで登録対象
としておく。

■ 運用指針より登録対象部分抜粋

(登録対象) ←

第5条 アーカイブが収集対象とする研究成果・教育資源は次の要件を満たすものとする。←

- (1) 登録者が本学在籍中に単独もしくは共同で作成した研究成果・教育資源であること。←
- (2) 公開に当たって、法令上、社会通念上及びセキュリティ上問題が生じないものであること。←
- (3) 資料の種別として以下のいずれかに該当するもの。←
 1. 学術雑誌掲載済論文←
 2. 紀要←
 3. 会議・講演等での発表資料←
 4. 博士学位論文←
 5. 修士学位論文（指導教員等の同意を得たもの）←
 6. 学術雑誌以外の一般雑誌・書籍等に掲載済の原稿←
 7. 授業等で使用した教材←
 8. 実験・観測データ←
 9. その他附属図書館長が特に認めたもの←

大学としての特徴(4)

研究面の特徴

- 平成17年度
共同研究・受託研究中の中小企業比率全国1位
- 平成19年6月日本経済新聞社調査
地域貢献度ランキング1位
⇒研究を地域社会の役にたてる, という意識が高い
⇒特許等知財への意識も高い傾向
- 学術的意義とは別に, 社会, 経済, 文化への貢献が高い, と判断される研究もある。

大学としての特徴(5)

登録論文から室工大らしいもの

- 2008年7月7日から9日にかけて行われた北海道洞爺湖サミットで、各国報道陣の取材拠点となった国際メディアセンターにも使われた、「雪冷房システム」の媚山政良先生の論文。

日本機械学会誌 110(1058), p63, 2007

「地域で行う自然エネルギー開発プロジェクト：街中で唄う“雪山賛歌”計画」



簡易検索

検索

詳細検索
主題検索

→ ホーム

一覧

→ 学科・センター等

→ タイトル

→ 著者

→ キーワード

→ 日付

登録利用者:

→ メール受信登録

→ 登録者ページ
利用者(E-people)

→ プロフィール編集

→ ヘルプ

→ 当システムについて

[Muroran-IT Academic Resources Archive >](#)

[20 機械システム工学科 >](#)

[20a 雑誌掲載論文 >](#)

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	形式
nikki110_1058_63.pdf		359.45 kB	Adobe PDF 見る/開く

タイトル: 地域で行う自然エネルギー開発プロジェクト：街中で唱う"雪山賛歌"計画

著者: 媚山, 政良

発行日: 2007年1月

出版者: 社団法人日本機械学会

引用: 日本機械学会誌 110(1058), p63, 2007

URI: <http://hdl.handle.net/10258/348>

ISSN: 0021-4728

Rights: 社団法人日本機械学会

本文データは学協会の許諾に基づきCiNiiから複製したものである

テキストバージョン: publisher

出現コレクション: [20a 雑誌掲載論文](#)

この資料へのリンクは次の URL を使用してください: <http://hdl.handle.net/10258/348>

詳細を表示する

小規模単科大学ということ(1)

リポジトリ実施体制

実際のシステム等担当(学術情報係):メインの担当係

⇒正職員2名, 非常勤2名

目録まわりの日常業務と兼任

宣伝, 受付の補助担当(運用係)

⇒正職員3名, 非常勤1名, (夜間アルバイト学生)

カウンターまわりの日常業務と兼任

小規模単科大学ということ(2)

小規模大学のマイナス面

■ 小規模大学は人員が厳しい？

担当は他の業務と兼任。

業務の外部委託をすれば手間は減らせる。

自分で決められないことはDRFで相談するのもあり。

■ 小規模大学は予算が厳しい？

予算次第でやり方(自力構築か外部委託か, 外部委託ならどの業者にするか, etc.)を変えられる。

予算担当部署へのプレゼン次第。(ライバルも少ないはず)

⇒工夫次第でマイナス面の克服は可能

小規模単科大学ということ(3)

小規模大学のプラス面①

- **みんな顔見知り**

職員も先生も顔と名前が一致する状態。
予算交渉でも館長, 学長プレゼンでも。

- **チームワークが良い**

職員は普段から協力し合って業務をしている。
意思疎通が容易。

小規模単科大学ということ(4)

小規模大学のプラス面②

- リーダーシップでどんどん進む

館長がリポジトリの理解者。

決めたことはどんどん進む。

⇒プラス面はたくさんある

まとめ

- 小規模単科大学でも
リポジトリの構築は
可能です。